



はままつ文化創造 チャレンジ事業費補助金 とは？

浜松市では、浜松市文化振興ビジョンの基本目標に「文化で市民の幸せを創り出す都市」を掲げ、市民が地域文化の担い手となる仕組みづくりを進めています。今年度動き出した「はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金」は、ビジョンの中にもある、市民の創造的な文化芸術活動を支援するために、これまでの浜松市創造都市推進事業補助金をリニューアルした制度です。

リニューアルによって対象を文化芸術活動へ特化していますが、金銭的支援にとどまらない幅広い活動の支援は継続するとともに、申請者の自立を促進するため補助率逓減制度の導入や、より大規模な文化芸術活動へも対応できる上限の拡大を行っています。

提案された事業は、「新規性・獨創性」「文化芸術の地域性」「文化芸術の活用度」「財源確保の計画性」「発展継続性」「波及効果」の6つの観点から審査されます。

2度にわたる審査を経て今年度の採択が決定した事業は、7月から2月までの期間内に市内で実施されます。採択された事業は、今後の発展・継続とともに、市民の創造的活動のさらなる刺激、新たな価値の創出が期待されています。(浜松市 創造都市・文化振興課)

令和7年度はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金 | アドバイザーコメント

書類、対面審査を経てステップアップ枠9件、チャレンジ枠3件の事業が採択され(このうち10件が申請)、7月1日から事業が実施されています。本補助金は、3名のアドバイザーと浜松アーツ&クリエイションによる伴走支援を行います。事業をよりよく、継続して実施できるよう、採択事業者と一緒に考えていきます。本年度アドバイザーとして関わってくださる、3名の方に事業への期待をお話いただきました。

高島 知佐子

静岡文化芸術大学 文化政策学部 芸術文化学科 教授



文化・芸術の担い手は、個人、非営利な団体、企業などさまざまで、活動も明確に非営利と営利には分けにくく、ジャンルも音楽や美術、演劇といった従来の枠に収まらないものになってきています。固定概念を捨て、領域を超えて、創造的により良い事業を作りあげ、確実にステップアップとチャレンジに繋がるような助言、協力を意識したいと考えています。計画的に事業を進めながらも、そのプロセスでの意外な発見や出会いを柔軟に取り込む即興性、面倒なことを一層面倒にするくらいの丁寧さとこだわり、そこに私たちを巻き込み、振り回し、使い倒す強さを採択事業者には期待しています。

山口 洋典

立命館大学 共通教育推進機構 教授



浜松市で2019年度に導入された「浜松市創造都市推進事業補助金」は、2025年度から「はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金」に発展しました。大きく異なるのは支援対象の明確化と額の増加、そして継続採択の事業にはレベルアップの重視の観点から補助率が下がるという点です。ただし、「みんなのはままつ創造プロジェクト」(2012年～2018年)から拡充された、個人アーティストへの対象や伴走支援という特徴は継承されています。初年度となる今回、皆さんから提案された3年後に目指す未来像が実現するためにはアドバイザーにどのような貢献が求められるか、この問いに向き合うことで私もまた浜松における文化創造へのチャレンジを重ねて参ります。

道喜 道恵

NPO法人浜松男女共同参画推進協会 理事長／あいホール 館長



「浜松市を創造性あふれる文化芸術活動で応援する」というキモチにあふれた事業提案をありがとうございます。これから全10事業が動き出します。「なぜこの事業をやりたいのか」「誰に向けて想いを届けたいのか」「どうやって実現するのか」という観点をもって、事業を実現し、事業が終わっても、事業提案者が継続した活動ができるよう、これからアドバイザーとして事業に伴走していきます！

浜松市民の方々にとって、提案者の想いがカタチとなった事業と出会い、浜松発の文化芸術活動に触れ、驚き、創発され、輪が広がっていくことを期待しています。



「令和7年度はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金」の採択事業が決定しました。

各事業の詳細については、各団体のHPもしくは、浜松アーツ&クリエイションのHPとイベントカレンダーでご案内していきます。ぜひ詳細をチェックしてみてくださいね！

浜松アーツ&クリエイションHP▶



補助金の種類と内容

	ステップアップ枠	チャレンジ枠
対 象	- 市内に住所を有する3名以上で活動する非営利の法人、団体等 - 市内に住所を有する、若しくは市内で活動する個人又はそれらが一時的に集まって組織したグループ	- 市内に住所を有する営利企業及びそれらによって構成された組織 - 市内に住所を有する3名以上で活動する非営利の法人、団体等 - 市内に住所を有する、若しくは市内で活動する個人又はそれらが一時的に集まって組織したグループ
補助率	(補助対象経費の) 1回目:10/10 2回目:2/3 3回目:1/2 ※審査は毎年度行います。3回の事業の採択を約束するものではありません。	(補助対象経費の) 1/2
採択上限回数	3回	特に指定はありません。
補助金上限額	100万円 ※前年度に活動実績がない場合は、原則として上限額の半額を上限額とします。個人又はそれらが一時的に集まって組織したグループの場合、前年度に活動実績がある場合でも、上限額の半額を上限額とします。	300万円
期待する取組	既存の活動の範囲、内容等に新たな発想を加えた事業に挑戦する取組など	事業を大規模に展開することによって、市の文化芸術分野の発展に寄与する取組など

ステップアップ枠

社会福祉法人ひかりの園

ワークショップ&宿泊体験事業「文化と福祉の交差点～やったことないをやる～」



福祉とアート、文化を混ぜ合わせてみる。福祉施設に泊まってみる。そんな風にやったことないをやる体験事業です。最終日には、アーティストや参加者、地域関係者が集まってシンポジウムを行い、今後の地域や浜松市の文化、福祉について議論を行います。

日 時	ワークショップ&宿泊体験 2025年 9月8日(月)～9日(火) 10月3日(金)～4日(土) 11月7日(金)～8日(土) 12月12日(金)～13日(土)
会場	シンポジウム 2026年 1月17日(土)
参加・入場料	浜松発達医療センター等 無料



問い合わせ先 社会福祉法人ひかりの園 ☎ masaki1128oohashi@gmail.com

ホスピタルアート×ヘルスケアアート×ハママツ [HA×HA×HA]

病院を会場としたホスピタルアート体験会、気づきの共有、継続的な活動の検討



浜松市内の病院でホスピタルアートに触れる機会を作り、活動を通して病院も利用する人も療養環境やウェルビーイングについて考えてもらう機会を創造します。地域でデザインを学ぶ学生、モチーフとなる松の専門家や、病院に関わる様々な人が参加いただけるイベントです。

日 時	2025年11月1日(土)、22日(土)
会場	浜松医科大学病院、聖隷浜松病院
参加・入場料	無料



問い合わせ先 ホスピタルアート×ヘルスケアアート×ハママツ [HA×HA×HA]
☎ ha_ha_hamamatsu@routineworks.net

公益財団法人 浜松交響楽団

この街と共に未来を奏でるプロジェクト～はまっキョとつくりよう！音楽ワンダーランド～



浜松市内施設を会場に音楽イベントを地域の方と創造します。小編成オーケストラでの演奏、オーケストラに使われる楽器紹介、楽器体験などの身近に楽しめる音楽企画を考えています。音楽の力とさまざまなアイデアで、参加された方や観客の方に幸福感を体感していただけるような事業を実施します。



問い合わせ先 公益財団法人 浜松交響楽団
☎ info@hamakyou.jp

浜松盆部

踊る！えんの市 へちま音頭でブ～ラブラ♪



盆踊りの楽しさを伝え、体感する場としての盆踊り大会を、プロセスも含めて事業とします。生演奏・生唄の盆踊りを目玉に、天竜連の阿波踊りの練り歩きや天竜踊り、DJコーナーなど、地元アーティストとの共演、縁日や紙芝居、浴衣の着付けなど、幅広い世代が楽しめる多彩な企画を予定しています。

日 時	2025年9月20日(土)
会場	初山宝林寺(雨天の場合はOMソーラー株式会社)
参加・入場料	無料

問い合わせ先 浜松盆部 えんの市プロジェクト
☎ enno1pj@gmail.com



よしだ なほ

あかちゃんもおとなもおとをあびよう おんがくしゃわー!!!



日々子育てを頑張るあなたへ！赤ちゃん連れでも気軽に参加できる、多様な世界を感じられる音楽や、純粋に音を鳴らすことを楽しむ音楽体験を提供します。日用品やおもちゃの楽器で純粋に音を鳴らす楽しさを親子で発見できるようなスペシャルコンサートも開催します。

日 時	2025年11月～2026年1月
会場	クリエイト浜松、鶴江アートセンター、市内の保育園・幼稚園、企業保有の施設等を検討中
参加・入場料	(1)おとあびサロン 400円 (2)スペシャルコンサート 500円



問い合わせ先 よしだ なほ ☎ ongaku.showeriii@gmail.com

韓紙と多肉と風

クリスマスイルミネーションとコラボレーション『多肉植物美術館～小さな落とし物～』



韓紙アートやアイアンアートに多肉植物を生け、イルミネーションされた、はまっフラワーパークに1ヶ月展示します。アートの力で浜松の多肉植物の魅力を発信します。展示終盤には浜松日体高校の協力を得て、小学生親子向けの多肉アート解体&寄せ植え体験教室を開催します。

日 時	2025年11月下旬～2026年1月1週目頃 ※イルミネーション時期の決定が7・8月頃
会場	はまっフラワーパーク クリスタルパレス(大温室)
参加・入場料	フラワーパーク入園料 大人500円/子ども無料 ワークショップ参加料 1,000円



問い合わせ先 韓紙と多肉と風 ☎ haru.strategy@outlook.jp

青島 貴和子

0歳とパパママのリフレッシュコンサート～癒しのスティールパン～ vol.2



子育てを頑張っているパパママに、外に出てリフレッシュになる場を提供します。子育て中は、社会から取り残されたように感じたり、自ら交流を求め外に出て上手くしゃべれなかったり。そんな子育てのちょっとしたモヤモヤの心が晴れるような交流コンサートを開催します。

日 時	2025年10月13日(月・祝)
会場	中村家住宅
参加・入場料	1,000円

問い合わせ先 青島 貴和子
☎ kiwakoproject@gmail.com

鈴木 絢子

「二俣どんつき音楽舎」～古民家に集い・奏でる・地域の音色～



二俣に誕生した古民家「どんつき」を拠点とした、天竜地域の街歩きやリサーチ活動による、地域に注目した制作活動を実施。地域の他業種の方とコラボレーションし、成果発表コンサートを開催します。期間中、月に1～2度程度「どんつき」に滞在し、音楽を通じて地域の人々とコミュニケーションをはかります。

日 時	プロジェクト制作期間 2025年7月～10月 成果発表コンサート 2025年9月28日(日)
会場	天竜二俣サードプレイス「どんつき」
参加・入場料	成果発表コンサート 〈午前の部〉ファミリー向け:大人1人+子1人(ペアチケット) 2,000円 [追加]大人1人/1,500円 [追加]子ども 1人/500円 〈午後の部〉大人向け:大人1人 3,500円



問い合わせ先 鈴木 絢子
☎ aph.artsp Performing@gmail.com

チャレンジ枠

天竜 四季の森

舞踊と音楽で彩る天竜の四季「めぐる、森のいのちの物語」



舞踊家・振付家 吉崎裕哉氏の構成・演出により、天竜川流域のダンサー29名が、天竜四季の森音楽団の生演奏とともに、森の物語を全身で表現する舞台作品です。舞台音楽はすべて天竜の森から着想を得て書き下ろされたオリジナル作品で、生演奏による臨場感あふれるステージを創出します。

日 時	2025年8月23日(土)18:30～ 24日(日)11:00～/15:00～
会場	浜松市天竜壬生ホール
参加・入場料	一般:3,000円 U22:2,000円 当日+500円 未就学児無料



問い合わせ先 天竜 四季の森
☎ tenryu.symphony@gmail.com



ロストアンドファインド

Lost&Find



浜松市天竜区のキャンプ場を会場とした屋外型の音楽公演を開催し、電子楽器を主たる楽器とした演奏／電子技術を使用した演出の可能性を広く提示します。新たな映像演出の導入／地域アーティストの交流／コミュニティの醸成を通し、地域に対し良い影響力を持てるような事業を目指します。

日 時	2025年10月18日(土)～19日(日)
会場	龍山秘密村
参加・入場料	8,000円～



問い合わせ先 ロストアンドファインド ☎ lostandfind.ticket@gmail.com

浜松アーツ&クリエイションからのメッセージ

市内で活動するアーティストや団体、企業の皆さまから、多様で意欲的なご提案を数多くお寄せいただきました。それぞれの取り組みには、創造性と情熱があふれており、皆さまの強い想いが伝わってきました。私たちは、こうした皆さまの活動が一過性のものにとどまらず、地域にしっかりと根付き、継続的に発展していくよう、事業の企画段階から実施、そして終了後の展開に至るまで、伴走支援を行ってまいります。アートとクリエイティブの力は、人と人をつなぎ、地域に新たな風を吹き込む原動力となります。皆さまの活動が広がり、たくさんの人と想いがつながっていくことを願っています。

劇団限界集落「ここだからやれること、私たちだからできることがある」

浜松市天竜区春野町。人口約3,600人（2025年現在）、そのうち6割以上が65歳以上の高齢者という過疎化が進むこの町に2021年5月、劇団限界集落は誕生しました。

現在、小学生から70代まで、年齢も生き方も違う28名の老若男女が集まって活動しています。

「限界」という言葉を吹き飛ばす、どこまでも自由で心動かす瞬間を自分たちの手で創っていかう。私たちが目指すのはこの地域に住むひとりひとりの生き様が詰まった、土臭くて人間味溢れる手づくりの舞台です。



9月28日(日)に再演する音楽劇『城山小僧』は、地元に伝わる「城山小僧」という民話をモチーフに、実在するある一人の女性の人生を重ね合わせて創られた完全オリジナルのストーリーです。

舞台は戦中から戦後にかけての春野町。世代を超えて受け継がれる人々の思いが、音楽とともに響き渡ります。

衣装や舞台美術、音響から照明まで、熱い思いを持ったメンバーが力を合わせて創り上げる舞台を、ぜひ一度、ご覧ください。

公演情報

劇団限界集落 第7回公演 「音楽劇 城山小僧」

2025.9/28[日]
13:00開場 14:00開演

入 場 料 500円(中学生以下無料)

申込方法 ①QRコード

[申込期限]9月25日(木)

②整理券(春野文化センター、リカーズひろで配布)

③劇団事務局へ電話、またはお近くの劇団員まで

[主 催] 劇団限界集落



HP



申込QR

今号の表紙



制作者

そろそろ art in progress
(アートコレクティブ)

タイトル

Workshop
YER!YER!YER!

そろそろart in progress profile

静岡県浜松市を拠点に活動するアーティスト7名による、先進的かつおおらかに芸術の本質を現場に反映させたワークショップや場作りを行うアートコレクティブ。

メンバーはよしだあさお、ウエダトモミ、柏原崇之、すずし、大谷和正、とづかゆう、ホシノマサハル。2021年結成。2022年～2024年に浜松市創造都市推進事業補助金制度を活用し、複合型ワークショップイベント「ワークショップヤー！ヤー！ヤー！」を市内で開催した。毎年プロジェクトを各メンバーが振り返り、ページを作成し、独自の製本で1冊にまとめたドキュメンテーションブックを発行するなど、能動的な市民参加型芸術活動のモデルケースの実践を行っている。



Instagram

作品制作にあたって

2024年開催「ワークショップヤーヤーヤープロジェクト2024」のゲストアーティスト全盲の写真家・アーティストの白鳥建二氏が「ワークショップヤー！ヤー！ヤー！3」(富塚協働センター体育館)の広い会場内を光ではなく音に手繰り寄せられながら撮影した写真や「未知と遊ぶKiga-ye!」(西気賀小学校体育館)、「ドキュメンテーションヤーヤーヤー2024」(株式会社スーパープランニング内「1937gallery」)などのそれぞれの素材としての記録を一つの作品にコラージュしたそろそろ art in progressのアーカイブグラフィック。